

令和5年度菊池市における鳥獣による
林業被害調査結果報告書

令和6年5月

1 調査期間 令和6年1月23日から令和6年2月29日まで

2 調査対象者及び調査方法

本市が認定している森林経営計画に基づき自ら森林の経営を行っている方を対象に、令和6年1月23日付の文書で、郵送により本調査票(P. 8別添1参照)を配布した。

また、調査票の回収については、農林整備課窓口での直接回収、返信用封筒による回答の他、専用のウェブサイトより回答してもらった。

※ () については、令和4年度調査結果

3 対象者数 106人 (192人)

4 回答者数 45人 (75人)

調査票による回答 35人 (67人)

ウェブサイトによる回答 10人 (8人)

5 回答の集計結果

(1) 鳥獣の被害の有無

被害なし 31人 (38人)

被害あり 14人 (37人)

(2) 被害面積 10.98ha (12.38ha)

(3) 本調査における鳥獣毎の被害面積及び被害額

鳥獣名	被害面積(ha)	被害額(円)
イノシシ	3.41 (6.10)	5,966,928 (14,187,724)
ニホンジカ	7.58 (6.28)	9,109,562 (7,649,720)
合計	10.99 (12.38)	15,076,490 (21,837,444)

(4) 獣種毎の被害の内訳

鳥獣名	林産物	被害面積(ha)	被害金額(円)
イノシシ	しいたけ	0.53(2.95)	1,742,832(9,654,372)
	タケノコ	0.00(1.05)	0(2,044,787)
	スギ	0.04(0.14)	23,943(126,000)
	ヒノキ	2.31(0.04)	1,425,717(68,720)
	クヌギ	0.03(1.73)	14,686(2,293,845)
	その他・不明	0.50(0.19)	2,759,750(0)
合計		3.41(6.10)	5,966,928(14,187,724)

鳥獣名	林産物	被害面積(ha)	被害金額(円)
ニホンジカ	しいたけ	0.00(0.14)	0(442,260)
	タケノコ	0.00(0.00)	0(0)
	スギ	0.19(1.33)	166,692(767,540)
	ヒノキ	7.31(2.59)	8,883,077(3,976,115)
	クヌギ	0.08(1.72)	59,793(2,463,805)
	その他・不明	0.00(0.50)	0(0)
合計		7.58(6.28)	9,109,562(7,649,720)

(5) 特用林産物の被害

特用林産物	鳥獣名	被害面積(ha)	被害金額(円)
しいたけ	イノシシ	0.53(2.95)	1,742,832(9,654,372)
	ニホンジカ	0.00(0.14)	0(442,260)
合計		0.53(3.09)	1,742,832(10,096,632)
タケノコ	イノシシ	0.00(1.05)	0(2,044,787)
	ニホンジカ	0.00(0)	0(0)
合計		0.00(1.05)	0(2,044,787)

なお、特用林産物の被害面積及び被害額については、令和5年産農林作物の被害調査アンケートに、一括して計上する。

※ 被害額の算出方法について

特用林産物(しいたけ及びタケノコ)については、農林水産省消費統計室が調査した令和3年青果物卸売市場調査報告内の熊本市青果市場の卸売価格等を基に算出した。

また、スギ、ヒノキ、クヌギについては、熊本県の森林環境保全整備事業標準単価(令和5年10月1日改定)を基に被害単価を算出した。

(6) 主な鳥獣による被害状況

① イノシシ

地域名	被害面積 (ha)	被害額 (円)
龍門	0.75 (1.83)	1,090,064 (3,977,686)
水源	1.56 (2.28)	336,492 (5,668,708)
旭志	0.74 (0.49)	3,438,893 (1,310,400)
その他・不明	0.35 (1.50)	1,101,479 (3,230,930)
合計	3.40 (6.10)	5,966,928 (14,187,724)

② ニホンジカ

地域名	被害面積 (ha)	被害額 (円)
龍門	1.65 (2.10)	1,671,615 (3,019,838)
水源	3.56 (2.90)	6,758,492 (3,459,832)
旭志	0.10 (0.81)	74,295 (624,950)
その他・不明	2.26 (0.47)	605,161 (545,100)
合計	7.58 (6.28)	9,109,563 (7,649,720)

○ 令和4年度に比べ、イノシシの被害については減ったが、ニホンジカの被害については、被害面積及び被害額とも増加となった。

また、地域別に比較すると、令和4年度と同様に水源地域における被害が最も多く全体の約47%を占める。

○ ニホンジカの捕獲頭数についても、令和4年度と比べ令和5年度は、26頭多く直近3年間の中では、過去最大となっている。被害面積及び被害額からもニホンジカの増加の傾向が確認できる。

(7) 地域ごとの鳥獣による被害状況

① 龍門地区

鳥獣名	林産物	被害内容	被害面積 (ha)	被害額 (円)
イノシシ	しいたけ	ほだ木倒し	0.00 (0.58)	0 (1,909,908)
	タケノコ	食害	0.00 (0.13)	0 (255,648)
	スギ	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	ヒノキ	剥被被害	0.75 (0.04)	1,089,225 (68,720)
	クヌギ	苗木引き抜き	0.00 (1.08)	839 (1,743,410)
	その他・不明	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	小計		0.75 (1.83)	1,090,064 (3,977,686)
ニホンジカ	しいたけ	ほだ木倒し	0.00 (0.14)	0 (442,260)
	タケノコ	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	スギ	剥被被害、食害	0.00 (0.23)	0 (56,765)
	ヒノキ	剥被被害、食害、不明	1.65 (0.73)	1,671,615 (846,813)
	クヌギ	萌芽被害	0.00 (1.00)	0 (1,674,000)
	その他・不明	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	小計		1.65 (2.10)	1,671,615 (3,019,838)
合計		2.40 (3.93)	2,761,679 (6,997,524)	

② 水源地区

鳥獣名	林産物	被害内容	被害面積 (ha)	被害額 (円)
イノシシ	しいたけ	ほだ木倒し	0.00 (1.17)	0 (3,832,920)
	タケノコ	食害	0.00 (0.91)	0 (1,779,700)
	スギ	苗木引き抜き	0.00 (0.08)	0 (54,000)
	ヒノキ	剥被被害	1.56 (0.00)	336,492 (0)
	クヌギ	ほだ木倒し	0.00 (0.12)	0 (2,088)
	その他・不明	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	小計		1.56 (2.28)	336,492 (5,668,708)
ニホンジカ	しいたけ	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	タケノコ	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	スギ	剥被被害・萌芽被害	0.00 (1.03)	0 (652,500)
	ヒノキ	剥被被害	3.56 (1.57)	6,758,492 (2,519,932)
	クヌギ	萌芽被害	0.00 (0.30)	0 (287,400)
	その他・不明	-	0.00 (0.00)	0 (0)
	小計		3.56 (2.90)	6,758,492 (3,459,832)
合計		5.12 (5.18)	7,094,984 (9,128,540)	

③ 旭志地区

鳥獣名	林産物	被害内容	被害面積 (ha)	被害額 (円)
イノシシ	しいたけ	ほだ木倒し	0.20(0.40)	655,200(1,310,400)
	タケノコ	-	0.00(0.00)	0(0)
	スギ	剥被被害・食害	0.04(0.00)	23,943(0)
	ヒノキ	-	0.00(0.00)	0(0)
	クヌギ	-	0.00(0.00)	0(0)
	その他・不明	食害	0.50(0.09)	2,759,750(0)
	小計			0.74(0.49)
ニホンジカ	しいたけ	-	0.00(0.00)	0(0)
	タケノコ	-	0.00(0.00)	0(0)
	スギ	剥被被害・食害	0.04(0.00)	23,943(0)
	ヒノキ	剥皮被害	0.00(0.29)	0(609,370)
	クヌギ	萌芽被害	0.06(0.02)	50,352(15,580)
	不明・その他		0.00(0.50)	0(0)
	小計			0.10(0.81)
合計			0.84(1.30)	3,513,188(1,935,350)

④ その他(豊間、重味等)、不明

鳥獣名	林産物	被害内容	被害面積 (ha)	被害額 (円)
イノシシ	しいたけ	ほだ木倒し	0.33(0.80)	1,087,632(2,601,144)
	タケノコ	食害	0.00(0.01)	0(9,439)
	スギ	剥皮被害、食害等	0.00(0.06)	0(72,000)
	ヒノキ	-	0.00(0.00)	0(0)
	クヌギ	剥皮被害、萌芽被害	0.02(0.53)	13,847(548,347)
	その他・不明	剥皮被害	0.00(0.10)	0(0)
	小計			0.35(1.50)
ニホンジカ	しいたけ	-	0.00(0.00)	0(0)
	タケノコ	-	0.00(0.00)	0(0)
	スギ	剥皮被害、食害	0.15(0.07)	142,750(58,275)
	ヒノキ	未記入	2.10(0.00)	452,970(0)
	クヌギ	剥皮被害、萌芽被害	0.02(0.40)	9,441(486,825)
	その他・不明		0.00(0.00)	0(0)
	小計			2.27(0.47)
合計			2.62(1.97)	1,706,640(3,776,030)

○ 地域ごとの被害状況を比較したところ、龍門地区及び水源地区においては、イノシシ、ニホンジカ共にヒノキの被害面積が最も大きかった。

旭志地区においては、イノシシによるほだ木倒し、その他（野菜）の食害が主なものであった。

(8) スギ・ヒノキ・クヌギ被害の年生別被害状況

樹種	年生	被害面積(ha)	被害額(円)
スギ	1～5	0.07(1.30)	47,885(885,375)
	31以上	0.04(0.00)	118,807(0)
	不明	0.11(0.18)	23,943(8,165)
	小計	0.22(1.48)	190,635(893,540)
ヒノキ	6～10	1.50(1.19)	2,178,450(1,677,832)
	11～15	0.00(0.41)	0(710,740)
	16～20	0.20(0.19)	431,400(351,870)
	21～25	0.00(0.21)	0(498,313)
	26～30	0.00(0.10)	0(257,500)
	31以上	2.00(0.20)	6,422,000(533,400)
	不明	5.92(0.33)	1,276,944(15,180)
	小計	9.62(2.63)	10,308,794(4,044,835)
クヌギ	1～5	0.10(1.27)	74,479(1,311,862)
	11～15	0.00(2.00)	0(3,400,500)
	不明	0.00(0.18)	0(45,288)
	小計	0.10(3.45)	74,479(4,757,650)
合計		9.94(7.56)	10,573,908(9,696,025)

○ 樹種ごとの被害状況を比較したところ、スギ及びクヌギでは樹齢の若いものの被害が多くみられ、ヒノキにおいてはある程度成長したものの被害も確認された。

6 自由意見

- 作業道沿いのヒノキの皮が剥がされている。
- 間伐等補助金を支給して下さい。
- 当方会社法人ですが林業は生業としておりません。一応回答はさせて頂きました。
- 草刈り講習受けましたけどチェーンソー講習まだなので剪定など安全作業したいです。狩猟わな免許も知りたいです。

- 作業道整備に生コンの支給が必要です。現在農道用が主で、林道（作業道）の方は少ないようです。たけのこ園は毎年被害にあっていましたが柵を設置しましたので被害はなくなりましたありがとうございました。
- 今回植え付けしたばかりで、獣害は発生していません。しかしながら、獣害は増加していると考えます。会計検査では、防護柵の巡視を徹底するよう厳しい指導がありますが、予算の関係、労力等負担が大きいです。また、防護柵だけでは、シカに飛び越えられ苗木への被害が発生しています。この為、獣害防護柵とツリーシェルターを組み合わせた徹底的な対策に補助金等、力を入れていただきたいです。
- ゴミ捨てや洗濯機等の投棄が山にも道路にも有るがこれをどうにかしたい。個人でも集めて燃やしたり粗大ゴミに出したりするが市でも対策して欲しい。
- イノシシの被害は有ったけど市場へ出さなくなったので金銭的な被害は生じなかった。
- 道沿いのクヌギ林がイノシシ被害が酷いため駆除をお願いしたい。雨が降ると土砂災害の可能性があります。
- 竹による杉山の荒廃が進んでいる。
- 「令和5年に確認された」というのが分からなくなっている。以前のものか？本年のものか？なので被害なしと書きました。
- 今後、鳥獣被害が見受けられた場合は、ご相談させていただきます。
- 年々シカの剥皮被害が多くなってきている。

7 参考資料

- ① 本アンケートの調査票(別添1のとおり)
- ② 被害データ一覧(別添2のとおり)